

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【公表番号】特表 2005-533760 (P2005-533760A)

【公表日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-044

【出願番号】特願 2003-586144 (P2003-586144)

【国際特許分類】

**C 0 7 C 49/84 (2006.01)**

**A 6 1 K 9/20 (2006.01)**

**A 6 1 K 9/48 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/121 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/353 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**

**C 0 7 C 45/74 (2006.01)**

**C 0 7 D 311/28 (2006.01)**

【 F I 】

C 0 7 C 49/84 C S P E

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 31/121

A 6 1 K 31/353

A 6 1 P 35/00

C 0 7 C 45/74

C 0 7 D 311/28

C 0 7 M 7:00

C 0 7 M 9:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 10 日 (2006.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

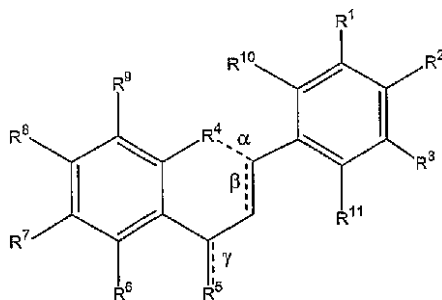
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の式 (I) :

【化 1】

(I)



を有する化合物であって、

、 が、任意の結合であり、但し が存在しない場合、 が存在し、そして が存在しない場合、 が存在し；

$R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ヒドロキシル、ハロ、スルフヒドリル、アルコキシ、アリールオキシ、およびアラルキルオキシからなる群から独立して選択され、さらに、 $R^1$  および  $R^2$  または  $R^3$  および  $R^4$  のいずれかが、結合されて環式基を形成し得；

が存在する場合、 $R^4$  は、O、S、 $NR^x$ 、および  $CR^yR^z$  から選択され、そしてが存在しない場合、 $R^4$  は、OH、SH、 $NHR^x$  および  $CR^yR^zH$  から選択され、 $R^x$ 、 $R^y$  および  $R^z$  が、水素またはアルキルであり；

が存在する場合、 $R^5$  は、O、S または  $NR^x$  であり；

が存在しない場合、 $R^5$  は、OH、SH、アシルオキシおよび  $N(R^x)_2$  からなる群から選択され、 $R^x$  は、同じでも異なっても良く、以前に定義される通りであり；

$R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$  および  $R^9$  は、水素、アルキル、アルケニル、アリール、アラルキル、アルコキシ、アリールオキシ、およびアラルキルオキシからなる群から独立して選択され、 $R^6$  および  $R^7$ 、 $R^7$  および  $R^8$ 、または  $R^8$  および  $R^9$  が、一緒に結合されて五員環、六員環ならびに縮合した五員環および / または六員環から選択される環式構造を形成し得、該環式構造は、芳香族構造、脂環式構造、複素環式芳香族構造、または複素環式脂環式構造であり、そして 0 個 ~ 4 個の非水素置換基および 0 個 ~ 3 個のヘテロ原子を有し；そして

$R^{10}$  および  $R^{11}$  が、水素、ヒドロキシル、アルキル、アルコキシおよびハロからなる群から独立して選択される、化合物。

#### 【請求項 2】

請求項 1 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ヒドロキシル、ハロ、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、 $C_5 - C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、さらに  $R^1$  および  $R^2$  または  $R^2$  および  $R^3$  のいずれかが結合されてアルキレン、置換アルキレン、およびヘテロアルキレンから選択される 2 原子結合または 3 原子結合を形成し得、

が存在する場合、 $R^4$  は、O、S、NH および  $CH_2$  から選択され、そしてが存在しない場合、 $R^4$  は、OH、SH、 $NH_2$  および  $CH_3$  から選択され；

が存在する場合、 $R^5$  は、O または NH であり；

が存在しない場合、 $R^5$  は、OH、 $C_6 - C_{32}$  アシルオキシおよび  $NH_2$  からなる群から選択され；

$R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$  および  $R^9$  は、水素、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、 $C_5 - C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、または  $R^6$  および  $R^7$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、またはフェニル環を形成し、そして  $R^8$  および  $R^9$  が、水素であり、または  $R^8$  および  $R^9$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、またはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^7$  が水素であり；そして

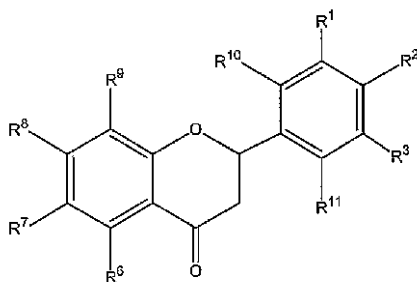
$R^{10}$  および  $R^{11}$  が、水素、ヒドロキシル、 $C_1 - C_6$  アルキル、 $C_1 - C_6$  アルコキシおよびハロからなる群から独立して選択される、化合物。

#### 【請求項 3】

請求項 2 に記載の化合物であって、 および が存在し、 が存在せず、 $R^4$  が O であり、そして  $R^5$  が O であり、その結果該化合物が、以下の式 (II) の化合物：

## 【化 2】

(II)



を有する、化合物。

## 【請求項 4】

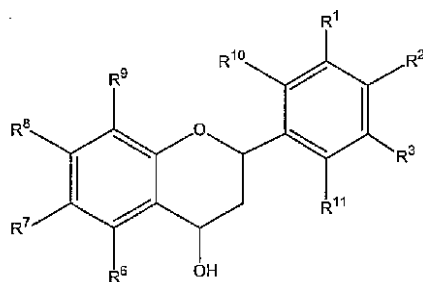
請求項 3 に記載の化合物であって、 $R^{10}$  および  $R^{11}$  が、水素である、化合物。

## 【請求項 5】

請求項 2 に記載の化合物であって、 $R^4$  が存在しており、 $R^5$  および  $R^6$  が存在せず、 $R^4$  が O であり、そして  $R^5$  が OH であり、その結果該化合物が、以下の式 (III) :

## 【化 3】

(III)



の構造を有する、化合物。

## 【請求項 6】

2, 4 - シス、2, 4 - シス、2, 4 - トランスまたは 2, 4 - トランス立体配置においてエナンチオマーとして純粋な形態である、請求項 5 に記載の化合物。

## 【請求項 7】

請求項 5 に記載の化合物であって、該化合物が、2, 4 - トランスエナンチオンマーおよび 2, 4 - トランスエナンチオマーのラセミ混合物を含む、化合物。

## 【請求項 8】

請求項 5 に記載の化合物であって、該化合物が、2, 4 - シスエナンチオンマーおよび 2, 4 - シスエナンチオマーのラセミ混合物を含む、化合物。

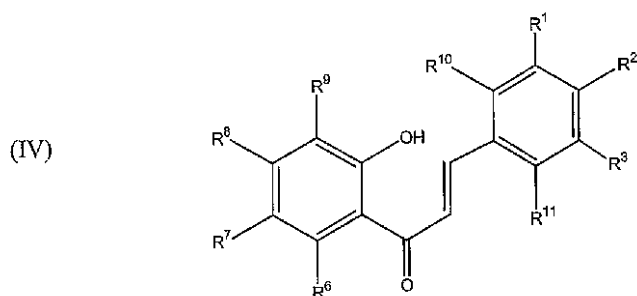
## 【請求項 9】

請求項 5 に記載の化合物であって、 $R^{10}$  および  $R^{11}$  が、水素である、化合物。

## 【請求項 10】

請求項 2 に記載の化合物であって、 $R^4$  および  $R^5$  が存在し、 $R^6$  が存在せず、 $R^4$  が OH であり、そして  $R^5$  が O であり、その結果該化合物が、以下の式 (IV) の化合物 :

## 【化 4】



を有する、化合物。

## 【請求項 1 1】

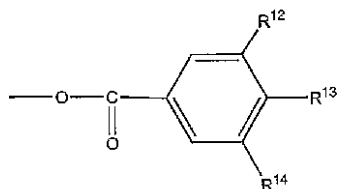
請求項 2 に記載の化合物であって、

$R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、同一であり、 $C_1 - C_6$  アルコキシおよび  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から選択され；

が存在する場合、 $R^4$  は、O であり、そして が存在しない場合、 $R^4$  は、OH であり；

が存在する場合、 $R^5$  は、O であり、そして が存在しない場合、 $R^5$  は、ヒドロキシルおよび以下の構造：

## 【化 5】



を有するアシルオキシ置換基からなる群から選択され、 $R^{12}$ 、 $R^{13}$  および  $R^{14}$  は、ヒドロキシル、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され；そして

(a)  $R^6$  および  $R^7$  は、一緒に結合されてフェニル環を形成し得、そして  $R^8$  および  $R^9$  は水素であり、(b)  $R^8$  および  $R^9$  は、一緒に結合されてフェニル環を結合し、そして  $R^6$  および  $R^7$  は、水素であり、(c)  $R^7$  および  $R^8$  は、一緒に結合されてシクロヘキシル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^9$  は水素であり、または (d)  $R^6$  および  $R^8$  は、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、または  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシであり、そして  $R^7$  および  $R^9$  は、水素であり；そして

$R^{10}$  および  $R^{11}$  は、水素である、化合物。

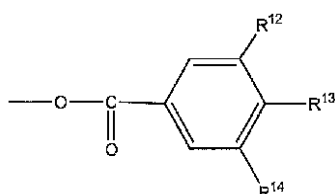
## 【請求項 1 2】

請求項 1 1 に記載の化合物であって、

$R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、メトキシおよびベンジルオキシからなる群から選択され；

が存在しない場合、 $R^5$  が、ヒドロキシルおよび以下の構造：

## 【化 6】



を有するアシルオキシ置換基からなる群から選択され、 $R^{12}$ 、 $R^{13}$  および  $R^{14}$  が、メトキシおよびベンジルオキシからなる群から独立して選択され、そして

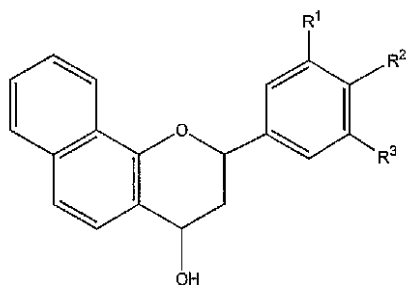
$R^8$  および  $R^9$  が、共に結合されてフェニル環を形成する、化合物。

【請求項 13】

以下の式 (V) :

【化 7】

(V)



に記載の構造を有する、請求項 12 に記載の化合物。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の化合物であって、該化合物が、2, 4 - トランスエナンチオマーおよび 2, 4 - トランスエナンチオマーのラセミ混合物を含む、化合物。

【請求項 15】

請求項 12 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、メトキシである、化合物。

【請求項 16】

請求項 13 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、メトキシである、化合物。

【請求項 17】

請求項 14 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、メトキシである、化合物。

【請求項 18】

請求項 12 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ベンジルオキシである、化合物。

【請求項 19】

請求項 13 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ベンジルオキシである、化合物。

【請求項 20】

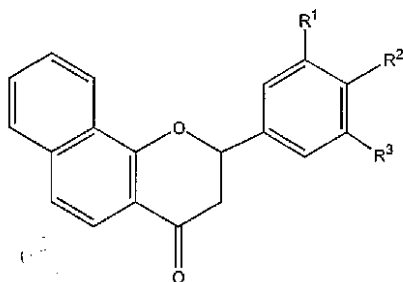
請求項 14 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ベンジルオキシである、化合物。

【請求項 21】

請求項 12 に記載の化合物であって、以下の式 (VIII) :

【化 8】

(VIII)



の構造を有する、化合物。

## 【請求項 2 2】

請求項 2 1 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、メトキシである、化合物。

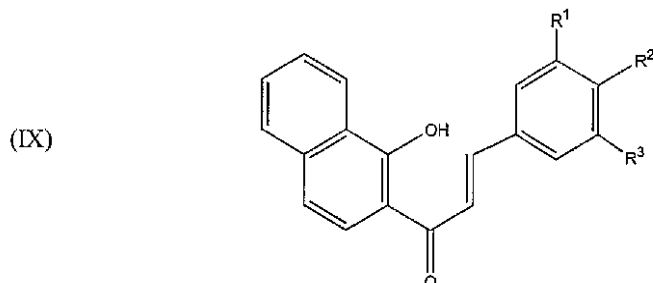
## 【請求項 2 3】

請求項 2 1 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ベンジルオキシである、化合物。

## 【請求項 2 4】

請求項 1 2 に記載の化合物であって、以下の式 (IX)：

## 【化 9】



の構造を有する、化合物。

## 【請求項 2 5】

請求項 2 4 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、メトキシである、化合物。

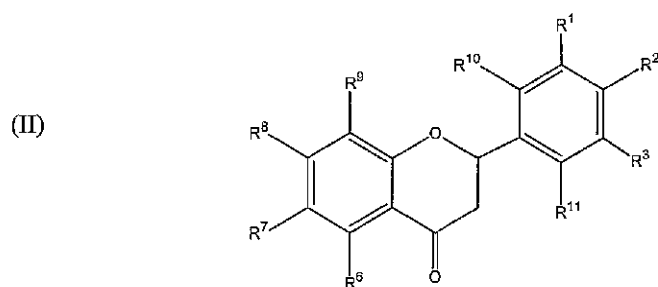
## 【請求項 2 6】

請求項 2 4 に記載の化合物であって、 $R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ベンジルオキシである、化合物。

## 【請求項 2 7】

以下の式 (II)：

## 【化 1 0】



の構造を有するフラバノン合成するための方法であって、

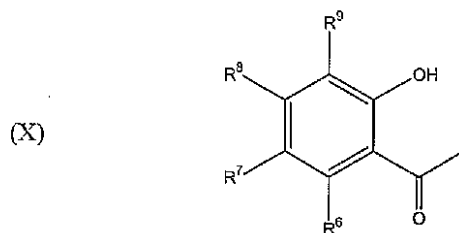
$R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ヒドロキシル、ハロ、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、 $C_5 - C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、さらに  $R^1$  および  $R^2$  または  $R^2$  および  $R^3$  のいずれかが結合されてアルキレン、置換アルキレン、およびヘテロアルキレンから選択される 2 原子結合または 3 原子結合を形成し得、

$R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$  および  $R^9$  は、水素、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、 $C_5 - C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、または  $R^6$  および  $R^7$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、またはフェニル環を形成し、そして  $R^8$  および  $R^9$  が、水素であり、または  $R^7$  および  $R^8$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、またはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^9$  が水素であり、または  $R^8$  および  $R^9$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^7$  が水素であり、そして

$R^{10}$  および  $R^{11}$  が、水素、ヒドロキシル、 $C_1 - C_6$  アルキル、 $C_1 - C_6$  アルコキシおよびハロからなる群から独立して選択され、

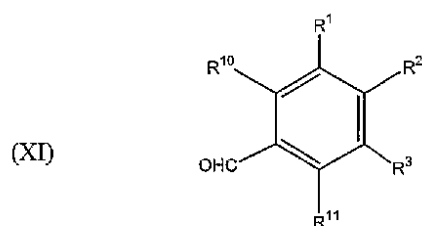
該方法が、以下のケトン (X) :

【化 1 1】



を窒素含有有機塩基の存在下で以下の芳香族アルデヒド (XI) :

【化 1 2】



と縮合する工程を包含する、方法。

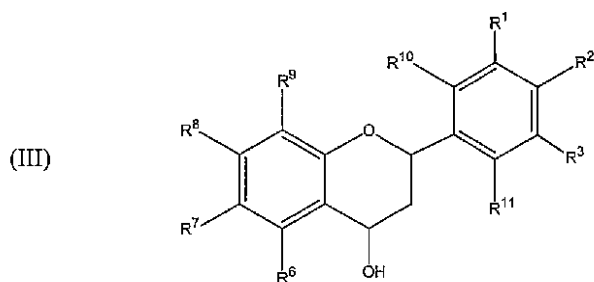
【請求項 2 8】

請求項 2 7 に記載の方法であって、前記縮合が、還流条件下で実行される、方法。

【請求項 2 9】

以下の式 (III) :

【化 1 3】



の構造を有するフラバノールを合成するための方法であって、

$R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ヒドロキシル、ハロ、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、 $C_5 - C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、さらに  $R^1$  および  $R^2$  または  $R^2$  および  $R^3$  のいずれかが結合されてアルキレン、置換アルキレン、およびヘテロアルキレンから選択される 2 原子結合または 3 原子結合を形成し得、

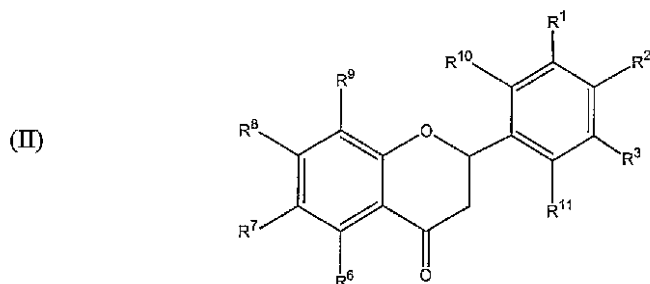
$R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$  および  $R^9$  は、水素、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、 $C_5 - C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、または  $R^6$  および  $R^7$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^8$  および  $R^9$  が、水素であり、または  $R^7$  および  $R^8$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^9$  が水素であり、または  $R^8$  および  $R^9$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^7$  が、水素であり、

そして

$R^{10}$  および  $R^{11}$  が、水素、ヒドロキシル、 $C_1 - C_6$  アルキル、 $C_1 - C_6$  アルコキシおよびハロからなる群から独立して選択され、

該方法が、以下の構造 (II) :

【化 14】



を有するフラバノンを経 4 - オキシ部分をヒドロキシル基に効果的に変える反応条件下で還元剤と接触させる工程を包含する、方法。

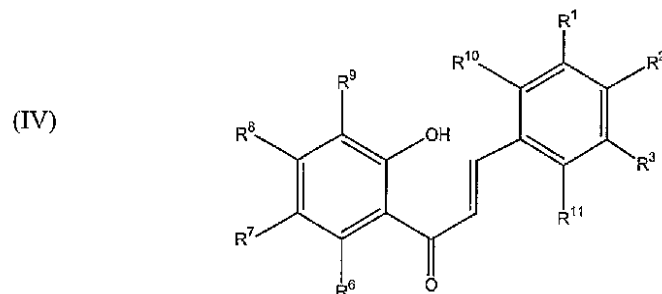
【請求項 30】

請求項 29 に記載の方法であって、前記還元剤が、水素化ホウ素ナトリウムである、方法。

【請求項 31】

以下の式 (IV) :

【化 15】



の構造を有するカルコンを合成するための方法であって、

$R^1$ 、 $R^2$  および  $R^3$  が、ヒドロキシル、ハロ、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、 $C_5 - C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、さらに  $R^1$  および  $R^2$  または  $R^2$  および  $R^3$  のいずれかが結合されてアルキレン、置換アルキレン、およびヘテロアルキレンから選択される 2 原子結合または 3 原子結合を形成し得、

$R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$  および  $R^9$  は、水素、 $C_1 - C_6$  アルコキシ、 $C_5 - C_{12}$  アリールオキシ、および  $C_5 - C_{12}$  アラルキルオキシからなる群から独立して選択され、または  $R^6$  および  $R^7$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^8$  および  $R^9$  が、水素であり、または  $R^7$  および  $R^8$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、もしくはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^9$  が水素であり、または  $R^8$  および  $R^9$  が、一緒に結合されてシクロヘキシル、シクロペンチル、またはフェニル環を形成し、そして  $R^6$  および  $R^7$  が、水素であり、そして

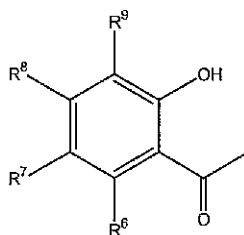
$R^{10}$  および  $R^{11}$  が、水素、ヒドロキシル、 $C_1 - C_6$  アルキル、 $C_1 - C_6$  アルコキシおよびハロからなる群から独立して選択され、

該方法が、以下のケトン (X) :



## 【化 1 6】

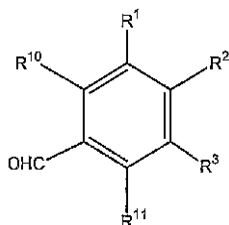
(X)



を水性無機塩基の存在下で以下の芳香族アルデヒド (X I) :

## 【化 1 7】

(XI)



と反応させる工程を包含する、方法。

## 【請求項 3 2】

請求項 3 1 に記載の方法であって、前記無機塩基が、アルカリ金属水酸化物である、方法。

## 【請求項 3 3】

請求項 3 2 に記載の方法であって、前記アルカリ金属水酸化物が、水酸化カリウムである、方法。

## 【請求項 3 4】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせている請求項 1 に記載の治療有効量の化合物を含む薬学的組成物。

## 【請求項 3 5】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせている請求項 3 に記載の治療有効量の化合物を含む薬学的組成物。

## 【請求項 3 6】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせている請求項 5 に記載の治療有効量の化合物を含む薬学的組成物。

## 【請求項 3 7】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせている請求項 7 に記載の治療有効量の化合物を含む薬学的組成物。

## 【請求項 3 8】

薬学的に受容可能なキャリアと組み合わせている請求項 1 0 に記載の治療有効量の化合物を含む薬学的組成物。

## 【請求項 3 9】

請求項 3 4 ~ 3 8 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記薬学的に受容可能なキャリアが、経口投与のために適切であり、そして該組成物が、経口投薬形態を含む、組成物。

## 【請求項 4 0】

請求項 3 9 に記載の組成物であって、前記経口投薬形態が、錠剤である、組成物。

## 【請求項 4 1】

請求項 3 9 に記載の組成物であって、前記経口投薬形態が、カプセルである、組成物。

## 【請求項 4 2】

請求項 3 4 ~ 3 8 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記薬学的に受容可能なキャ

リアが、非経口投与のために適切であり、そして該組成物が、非経口的に投薬可能な処方物を含む、組成物。

【請求項 4 3】

癌を患う患者を処置するための医薬の調製のための、請求項 1 に記載の化合物の使用。

【請求項 4 4】

癌を患う患者を処置するための医薬の調製のための、請求項 3 に記載の化合物の使用。

【請求項 4 5】

癌を患う患者を処置するための医薬の調製のための、請求項 5 に記載の化合物の使用。

【請求項 4 6】

癌を患う患者を処置するための医薬の調製のための、請求項 7 に記載の化合物の使用。

【請求項 4 7】

癌を患う患者を処置するための医薬の調製のための、請求項 1 0 に記載の化合物の使用。

【請求項 4 8】

請求項 4 3 ~ 4 7 のいずれか 1 項に記載の使用であって、前記癌が、前立腺癌、子宮癌または乳癌である、使用。

【請求項 4 9】

請求項 4 8 に記載の使用であって、前記癌が、乳癌である、使用。

【請求項 5 0】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 1 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 1】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害に患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 3 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 2】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害に患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 5 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 3】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害に患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 7 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 4】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害に患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 1 0 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 5】

新脈管形成に関連する症状、疾患または障害に患う個体を処置するための医薬の調製のための、請求項 1 1 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 6】

発達中の癌を受けやすい患者に投与するための予防医薬を調製するための、請求項 1 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 7】

発達中の癌を受けやすい患者に投与するための予防医薬を調製するための、請求項 3 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 8】

発達中の癌を受けやすい患者に投与するための予防医薬を調製するための、請求項 5 に記載の化合物の使用。

【請求項 5 9】

発達中の癌を受けやすい患者に投与するための予防医薬を調製するための、請求項 7 に記載の化合物の使用。

【請求項 6 0】

発達中の癌を受けやすい患者に投与するための予防医薬を調製するための、請求項 1 0 に記載の化合物の使用。

## 【請求項 6 1】

治療有効量の請求項 1 に記載の化合物を含有する、癌を患う患者を処置するための組成物。

## 【請求項 6 2】

治療有効量の請求項 3 に記載の化合物を含有する、癌を患う患者を処置するための組成物。

## 【請求項 6 3】

治療有効量の請求項 5 に記載の化合物を含有する、癌を患う患者を処置するための組成物。

## 【請求項 6 4】

治療有効量の請求項 7 に記載の化合物を含有する、癌を患う患者を処置するための組成物。

## 【請求項 6 5】

治療有効量の請求項 10 に記載の化合物を含有する、癌を患う患者を処置するための組成物。

## 【請求項 6 6】

請求項 6 1 ~ 6 5 のいずれか 1 項に記載の組成物であって、前記癌が、前立腺癌、子宮癌または乳癌である、組成物。

## 【請求項 6 7】

請求項 6 6 に記載の組成物であって、前記癌が、乳癌である、組成物。

## 【請求項 6 8】

抗脈管形成有効量の請求項 1 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

## 【請求項 6 9】

抗脈管形成有効量の請求項 3 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

## 【請求項 7 0】

抗脈管形成有効量の請求項 5 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

## 【請求項 7 1】

抗脈管形成有効量の請求項 7 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

## 【請求項 7 2】

抗脈管形成有効量の請求項 10 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

## 【請求項 7 3】

抗脈管形成有効量の請求項 11 に記載の化合物を含有する、新脈管形成に関連する症状、疾患または障害を患う個体を処置するための組成物。

## 【請求項 7 4】

予防有効量の請求項 1 に記載の化合物を含有する、化学予防的組成物。

## 【請求項 7 5】

予防有効量の請求項 3 に記載の化合物を含有する、化学予防的組成物。

## 【請求項 7 6】

予防有効量の請求項 5 に記載の化合物を含有する、化学予防的組成物。

## 【請求項 7 7】

予防有効量の請求項 7 に記載の化合物を含有する、化学予防的組成物。

## 【請求項 7 8】

予防有効量の請求項 10 に記載の化合物を含有する、化学予防的組成物。